



様式第5号（第5条関係）

令和6年3月31日

益田市議会議長
福原 宗男 様

議員 大久保五郎

益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和5年度政務活動費収支報告書

1 収 入
政務活動費 60,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	63,850	
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	63,850	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出報告（調査研究費）

視 察 先	新潟県燕市									
調 査 日	令和6年 1 月 15 日 ～ 6 年 1 月 17 日 (視察日：令和 6 年 1 月 16 日)									
視察内容	燕市役所【つばめ若者会議の取り組み状況】 【つばめ産学協創スクエア事業（現地視察含む）】									
経 費	<table><tr><td>交通費</td><td>51,250</td><td>円</td></tr><tr><td>宿泊費</td><td>12,600</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td>円 合計</td><td>63,850 円</td></tr></table>	交通費	51,250	円	宿泊費	12,600	円		円 合計	63,850 円
交通費	51,250	円								
宿泊費	12,600	円								
	円 合計	63,850 円								
所 感	燕市役所 議長 中山真 歓迎の言葉 人口 77,000 人 米作り 物づくり 打たき製品 盛ん つばめ産業 ふるさと納税 50 億円 新潟県内で一番 25 億円自由に使える 稼ぐまちづくり 主事 桶山貴一さん 事業について説明 「つばめ若者会議」質問項目に沿いながら 高校生から 40 歳まで 出身地は問わない 市長の方針：何を考えているか結果を求めない 自主性 主体性を重視 新しい何かを生む メンバーに求めるもの 若者と行政の得意分野で役割分担 農業・商業、各担当を探して繋いでいく 学校とのつながり→まちあそびを通じて ・立ち上げの背景について 2013～2015 年、“つばめ幸福論” 燃え尽き症候群となってしまった 高校生→地元の良さを知ってから他地域へ行くようにしたら 「つばめ産学協創スクエア事業」 大学生とつばめの企業をつなぐインターシップの受け入れ体制が整備されている拠点となる新たな施設、宿泊、交流施設を見学させていただいた。									

益田市も市内高校生と交流する企画・連携が重要と考える。
人づくり教育、ライフキャリア教育に一步踏み込んだ事業展開・背
策が重要である。

つばめ市の担当職員の熱意に感心させられた。本気度がなによりも
大切である。

1月16日 三条市

「地域おこし協力隊制度の活用について」

令和5年度1月1日現在43人が活躍中 業務委託で三条市特別任用
職員（会計年度任用職員）任用

三条地域と下田地区（中山間地域）

まちなかコミュニティ創出3人 まちなかの魅力向上起業支援5人

まちなかの人材づくり1人

枠→空き家対策 公共交通、新規就農 事業費はふるさと納税で
三条市

協力隊員の募集方法

- ・支援機関が募集、スカウトする
- ・移住関連のサイトで告知する

協力隊員の退任状況

退任者69人中26人が三条市に定住（定住率37.7%）

※三条市がなぜ人気移住地No.1になれたのか

1) 情報発信→毎日のように発信する

市職員の大変さあるので地域おこし協力隊に発信してもらう

note、SNSに投稿する ブログのように

フォロワー98,000人→280,000人

2) 移住スカウトサービス SMOUT ユーザー数48,000人

3) 移住促進住宅の整備 空き家 古民家の整備

4) 移住関連補助金 要件を満たせば最大700万円支給する

益田市の取り組みから三条市のような本気度が全く不足している

政策の内容 事業予算 根本から見直すべきと提案する

1月17日 南魚沼市 積雪55cm

議長 清塚 武敏 歓迎の言葉 平成16年合併

新潟地震により大被害を受けた 人口63,000人→53,000人（現在）

3200事業所 26000人雇用あるが労働者不足となっている

特産品：お米（魚沼産） 令和4年度ふるさと寄付金51億円

100万人入れ込み客を目標

林市長 雪をバネに施策を展開している

マッチングボックスについて

腰越 勝利部長

昭和 30 年代スキー場が 15 か所 出稼ぎから地場産業となったが、若者 500 人卒業するが 40%は帰ってこない 人口減少が加速している 令和 5 年度有効求人倍率 3.89 観光産業で人がいない そこでマッチングボックス取り組みが始まった

ランニングコストが下がった 湯沢町、長岡市も取り組んでいる 主任 影山 達也氏 説明 昨年担当 楽しく取り組んでいる

① 人手不足に役立つように

② 事業の魅力について

事業について動画 (20 秒)

狙い→ご近所で空いた時間働く 一日単位のお仕事探しサイト

“その日働けます” 移住の前に体験する

新潟市の会社 マッチボックス社取り組んでいる

市の狙い→人手不足を解消 Uターン支援 柔軟な労働環境を作る

効果→登録事業所 93 社 登録者数 616 人

始め方: 市とマッチボックス社で事業者を戸別訪問 10 社からスタート

ハローワークより早く、見やすい 探しやすい

益田市としても検討し、施策に導入すべきと提案する

No 014194

令和 6 年 / 月 / 3 日

領 収 証

大久保 五郎 様

領収金額		百万	千	円
¥		6	3	850

但し

上記金額正に領収致しました

〈軽減税率〉

10%

〈消費税率〉

10%

島根県知事登録 2-9 号 全国協保証社員



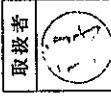
株式会社 全国観光公社

〒698-0023 島根県益田市常盤町5番29号

T E L (0856) 22-1144

F A X (0856) 22-1141

E-mail: info@zenkannet.jp



登録番号 T2280001005043

